

# 新版!! 教職員ワークショップ冊子発行!

RTC 登録グループのみなさんにご活用いただいていた「教職員ワークショップ冊子」が、新しくなりました! ページも大幅増の 40 ページになって、最低でも 5 年間は教職員ワークショップを行えるように組み立てました。

サイズはこれまでと同じ A4 版で 1 冊 150 円です。送料は実費いただきます。これから始まる教職員ワークショップにむけて、ぜひともご活用ください。

**A4 版 150 円 (税込)**

**送料は実費をご負担いただきます。**




今回第 2 版となった「教職員ワークショップ冊子」  
第 1 版は 4 年間で 1 万 2000 冊ほどをご活用いただきました。第 2 版もよろしくお祈いします。

## CAP Child Assault Prevention

### 目次

- 1 子どもへの暴力とはなにか
- 2 神話と事実 1
- 3 なぜ、子どもは暴力を受けやすいのか —3つの要因—
- 4 CAPプログラムの3つの柱
- 5 CAPの3つのアプローチ
- 6 子どもへの暴力を許さないコミュニティをつくる  
“CAPおとなワークショップ”
- 7 発達理論をベースに子どものエンパワメントを目的とする  
“CAP子どもワークショップ”
- 10 子ども虐待とはなにか
- 12 統計からみる子ども虐待の実態
- 13 虐待が子どもに及ぼす影響
- 15 児童虐待防止法のポイント
- 17 子ども虐待への対応
- 18 学校の果たす役割の重要性
- 19 関係機関との連携
- 23 虐待が疑われる保護者を見分ける手がかり
- 25 しつけに体罰を使うことはどのようなマイナスがあるか
- 26 虐待を受けた子どもに共通する心理
- 27 虐待に気づく手がかり
- 29 ドメスティック・バイオレンス (DV)
- 30 パワーとコントロール
- 31 暴力 (虐待) のサイクル
- 32 DVが子どもに与える影響
- 33 性的虐待について
- 35 神話と事実 2 —性暴力・性的虐待—
- 36 虐待が疑われる子どもと出会ったら
- 37 子どもの話を聴く
- 38 能動的聴き方のガイドライン
- 39 いじめについて
- 40 もっと学びたい方のために



#### Child Assault Prevention (子どもへの暴力防止)

子どもたちがいじめ、痴漢、誘拐、虐待、性暴力といった様々な暴力から自分の心とからだを守るための教育プログラムです。ロールプレイや話し合いを通して、誰でも生まれながらに持っている大切な3つの権利 — 「安心」「自信」「自由」があり、もし暴力にあってもその3つの権利が侵害されそうになったら何ができるかを、子どもや教職員、保護者、地域のおとなに伝えます。

お申し込みは CAP センター・JAPAN 事務局まで

TEL0798-57-4121 FAX0798-57-4122 E-mail info@cap-j.net